

ごみ処理施設整備基本構想検証事項

ごみ処理施設整備基本構想(平成22年3月)		検証内容(平成26年10月)	
処理方式	全連続燃焼式ストーカ式焼却炉	全連続燃焼式ストーカ式焼却炉	
施設規模	160トン/日(80トン/日×2炉)	130トン/日(65トン/日×2炉)	
処理対象ごみ	燃やせるごみ、可燃性粗大ごみ、選別残さ	同左	
排出ガス処理計画	塩化水素対策、 硫酸化合物対策	処理方式 消石灰噴霧による中和 処理性能 塩化水素 30ppm以下 硫酸化合物 25ppm以下	塩化水素対策、 硫酸化合物対策 同左
	ばいじん	処理方式 ろ過式集じん方式 処理性能 0.02g/m ³ _N 以下	ばいじん 処理方式 ろ過式集じん方式(同左) 処理性能 0.01g/m ³ _N 以下
	窒素酸化物	処理方式 無触媒脱硝方式 処理性能 80ppm以下	窒素酸化物対策 処理方式 触媒脱硝方式 処理性能 50ppm以下
	ダイオキシン類	処理方式 ろ過式集じん方式及び活性炭噴霧による除去 処理性能 0.1ng/m ³ _N 以下	ダイオキシン類 処理方式 ろ過式集じん方式、活性炭噴霧による除去及び触媒による分解 処理性能 0.1ng/m ³ _N 以下(同左)
	拡散対策	煙突高さ 59m	拡散対策 同左
プラント排水計画	処理後、基本的に場内で再利用し、残りが出た場合のみ生活系排水・洗車排水と合わせて放流する。	同左	
騒音防止計画	発生源を室内に設置し、壁面に吸音処理をすることで建屋外への騒音漏出を防止する。	同左	
振動防止計画	振動を発する機器は強固な基礎、又は、独立基礎の上に設置して、振動の伝搬を防止する。	同左	
悪臭防止計画	ごみピット内を負圧に保ち、脱臭装置を設置して建屋外への悪臭の漏出を防止する。	同左	
灰処理計画	焼却灰は集じん灰と併せて民間委託で資源化及び適正処分を図る。	同左	
給水計画	水道水の利用とする。	水道水及び地下水(井水)の併用	
雨水排水計画	調整池を経由して、側近の排水路に放流する。	同左	
余熱利用計画	<ul style="list-style-type: none"> ボイラは高温・高圧蒸気(3MPa、300°C程度)とする。 蒸気タービン(1,950kW程度)で発電するとともに抽気あるいは排気蒸気等を場内給湯及び場外余熱利用施設へ熱を供給する。 発電効率は高効率発電を目指す計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気タービンで発電するとともに抽気あるいは排気蒸気等を場内給湯及び場外余熱利用施設へ熱を供給する。 発電効率は高効率発電を目指す計画とする。 	
災害対策計画		地域の防災拠点としての機能(災害廃棄物受け入れ能力、始動電源、燃料保管設備等)を具備する。	

備考: 赤文字は変更箇所